

第 81 年度 第 2 回 外航部委員会

5 月 22 日 10 時 30 分から関東地方支部において開催し、2 月に開催された第 1 回外航部委員会以降の国際局関係の主要活動を報告行い、共通理解を深めるとともに、審議事項として令和 8 年度外航部門の労働協約改定と年間臨時手当の報告を行い、意見交換後に絶対多数をもって可決承認された。

小畑淳司外航部副部長補の司会で開会し、資格審査の結果、常任役員 3 人の出席と構成員 26 人（本人出席 26 人）の出席を得て本委員会の成立を確認した。

続いて、宮川脩生中・四国地方支部次長、山崎諒ケイラインローローバルクシップマネージメント株式会社職場委員の両名を議長団に選出した後、議事に入った。

主要活動報告

大山浩邦外航部長から、第 81 年度第 1 回外航部委員会以降の国際局関係の主要活動報告 9 項目（外航関係 4 項目、国際関係 5 項目）について報告し、質疑応答を行った。

委員からは▽シンガポール籍船管理委員会における二国間協約策定に向けた協議の背景や I T F への影響▽イラン情勢に関する組合ニュースの発信における各支部・職場委員の負担軽減に向けた検討要望▽ I T F 船員部会におけるペルシャ湾危機および A I 関連の論議の内容▽大会決定事項の申し入れなどの活動を通じた政府・政党との関係構築の重要性▽船員の働き方改革や地位向上に関する次年度活動方針への記載ならびに大会決定事項の申し入れの要望一について質問・意見が出され、本部側より答弁を行い、共通理解を深めた。

審議事項

池谷義之国際局長から、令和 8 年度外航部門の労働協約改定および年間臨時手当交渉の経過について報告を行い、意見交換の後、挙手による採決の結果、絶対多数をもって可決承認された。

その他

委員から▽各種委員会などにおける外航職場委員の構成基準▽外航中央労働協約の紙媒体および電子データの運用方法一について、質問・意見が出され、本部側から答弁を行い、共通理解を深めた。

最後に松浦満晴組合長から閉会のあいさつを受け、12 時 5 分に閉会した。

「海員だより」